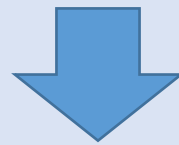


京都市ふるさと納税寄付金の 令和3年度受入状況について

- 京都のブランド力をいかした返礼品の充実
- 京都の魅力を最大限に情報発信

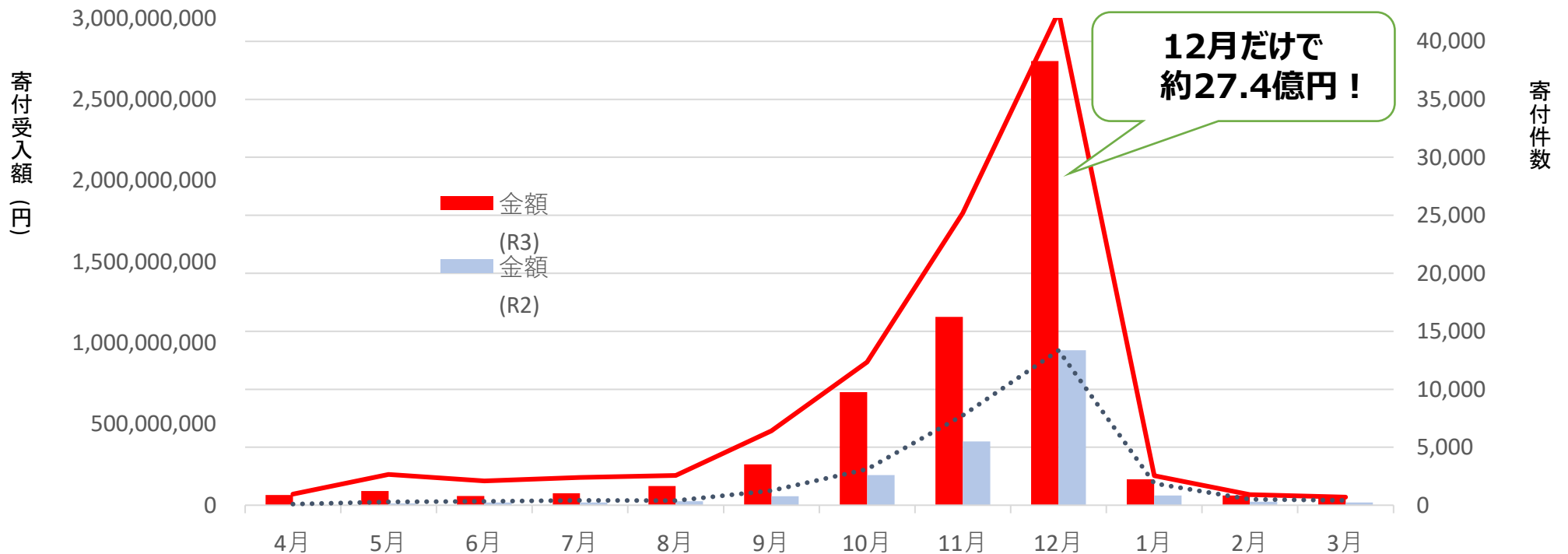


全庁挙げた取組で実現！

過去最高の寄付額が実現しました！

寄付金の受入状況（速報値）

- R3年度の寄付受入額は12月末で約52億円！過去最高を記録するとともに、年間目標額の40億円を達成し、前年度比3倍以上に
- コロナ禍で厳しい状況下にあるものの、京都観光を楽しめる旅行型返礼品や、おせち等の京都の食文化を愉しめる返礼品が人気
- 伝統産業品（京友禅・西陣織等）も申込件数は少ないが、ふるさと納税を通じて注目が集まる傾向にある



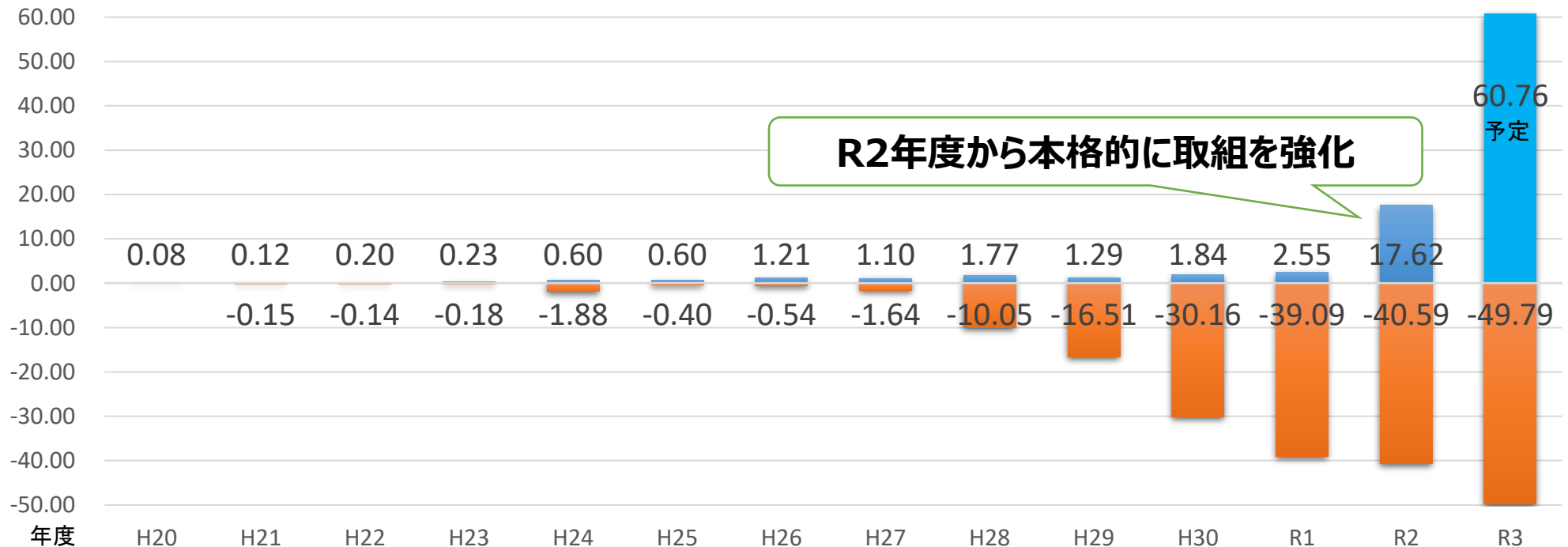
R3年度(12月末時点寄付申出状況)	寄付件数	97,266件
	寄付受入額	52億3496万8570円
R3年度累計見込	寄付受入額	60億7,650万円
	(株式会社による寄付金6億6,630万円含む)	

ふるさとと納税寄付金の現状について

ふるさとと納税の寄付額と流出額

- R3年度当初課税における税控除は49.8億円となり，流出額も増加傾向
- 特に京都市は危機的な財政状況にある中でこの状況を放置しないよう，京都の魅力を発信することによる寄付獲得の取組を強化

ふるさとと納税の寄付額と減収額(単位:億円)



取組① 返礼品の充実

- ・ 返礼品を都市の魅力を発信するためのシティセールスのツールとして位置付け、約2,300品目まで返礼品を充実（取組強化前のR元年度の約20倍）
- ・ 寺社等で特別な体験ができるプランや、京都市内の飲食店等の決済で利用可能な「電子感謝券」などを新しく追加

取組② プロモーションの強化

- ・ 京都市のふるさと納税の取組を知っていただけるようふるさと納税ポータルサイトを活用（R2年度：4サイト → R3年度：6サイト）
- ・ 寄付意向の高い首都圏の京都ファンをターゲットにした戦略的な情報発信

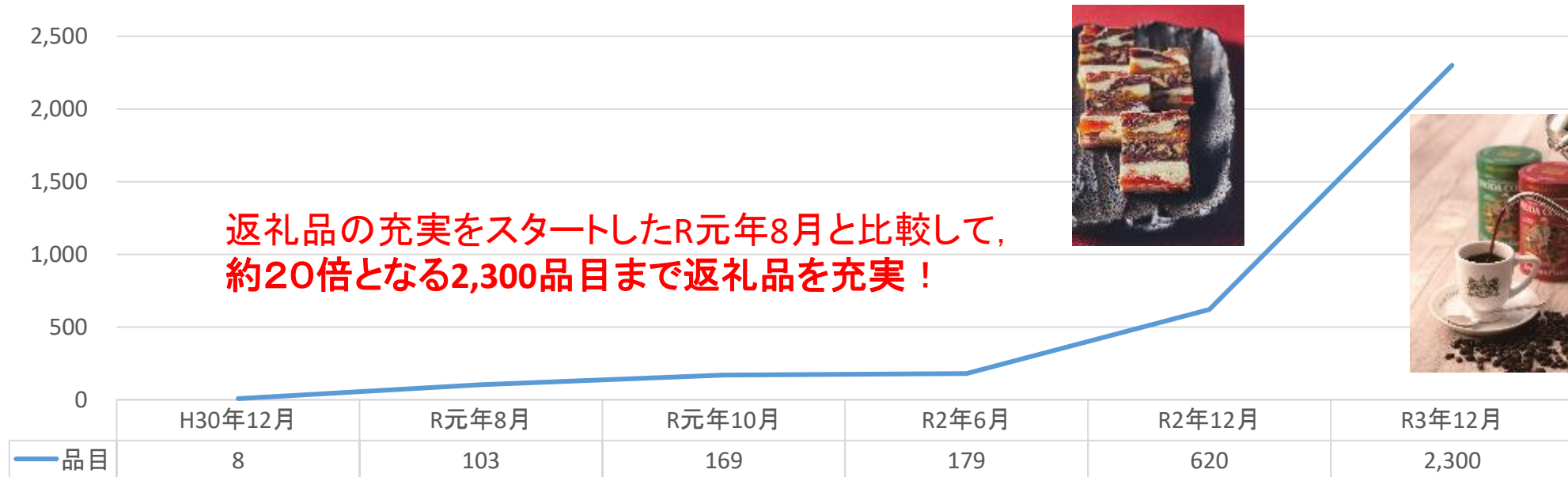
取組③ リピーターの獲得

- ・ 過去ご寄付いただいた方に、メールマガジンや冊子等で使い道をお示しするとともに寄付を呼び掛け

取組① 返礼品の充実

品目数の推移

- ・ ふるさと納税を通じて、京都ならではの食文化や伝統産業、伝統文化の魅力を広くPRするため、積極的に返礼品を追加（→コロナ禍で厳しい状況にある事業者への支援）
- ・ おせち料理は昨年度も好評を得たことから、京料理を中心に幅広くラインナップ（R2年度：41店舗・75種類→58店舗・136種類）
- ・ ふるさと納税制度を活用した地域経済活性化に取り組むため、京都中央信用金庫の各支店から29の地域事業者にお声掛けし、掲載スタート



人気の返礼品

- ・ 京都観光に利用できる「ふるなびトラベルポイント」, 「JTBふるさと納税旅行クーポン」を中心に申込が多く, 35%を占めている
- ・ 京都の食文化を代表する「おせち料理」は, 昨年度より約1箇月早く受付を開始し, 幅広い受付サイトから申し込めたため, 32%を占めている
- ・ いずれも寄付単価が高い返礼品であり, 全体の寄付額が伸びた大きな要因となっている。

◆ふるなびトラベルポイント (R2年12月より運用開始)



「ふるなび」を通じて申し込めば寄付額の3割にあたるポイントが付与され, 市内提携先のホテル代, 飲食代, タクシー代の決済に使える。

◆人気のおせち料理

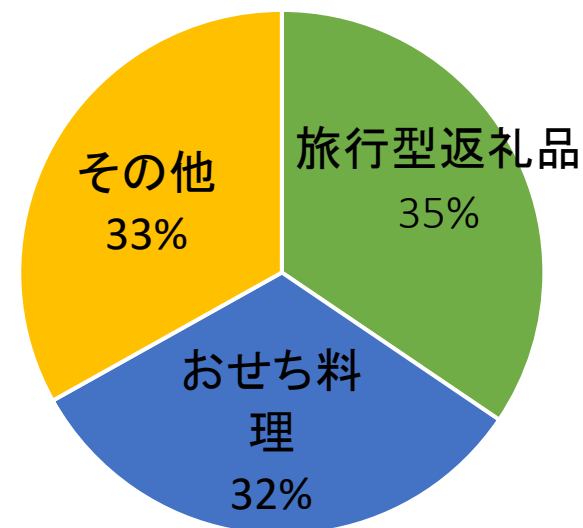


【京都祇園岩元】おせち三段重「匠」



【京料理 たん熊北店】
京都市ふるさと納税限定おせち
「夕顔」《三段重》

寄付受入額に占める割合



※12月末時点での速報値

取組① 返礼品の充実

人気の返礼品（旅行型，おせち以外）



京セラ クレサンベール
(寄付額11万円～825万円)



京料理ペアディナー食事券
(寄付額20万円)
ペアランチ食事券
(寄付額5万円)



いづう鯖姿寿司
(寄付額1万8千円)



京都肉
(寄付額1万円～)



お菓子類
(寄付額約8千円～)



老舗料亭の加工品
(寄付額約1万円～)

取組① 返礼品の充実

京都のコンテンツ力をいかした新たな返礼品

- ・ 通常非公開の案内付見学や名称庭園を貸し切るプランなど、寺院等と連携して、京都のコンテンツ力を最大限に活用した体験型の返礼品を企画
- ・ 芸舞妓のお座敷遊び体験付きの京料理お食事券、京都のプロスポーツチームとタイアップした返礼品を企画
- ・ 京都市内の加盟店・施設で宿泊や食事、施設の利用に使っていただくことができる電子ポイント「京都市電子感謝券」を8月にスタート
- ・ 京友禅、西陣織などの伝統産業品、匠による美術品などの価値の高い返礼品も追加し、申込件数は少ないものの注目が集まる傾向にある



世界遺産「仁和寺」宸殿での
プライベート能楽鑑賞
【寄付額: 737万円】



芸舞妓お座敷遊び体験付き
京料理プレミアムペア食事券
【寄付額: 100万円, 110万円, 120万円】



《京都ハンナリーズ》
はんニャリンがサプライズ訪問！
【寄付額: 100万円】

◆電子感謝券（R3.8.3より運用開始）



- ・ ふるさと納税の返礼品の一つであり、京都市内で使用できる電子化されたポイント。加盟店舗等において、宿泊、食事、買い物等に1ポイント=1円で利用できる
- ・ ポイントは支払い時にスマートフォンなどを使って使用することができ、現金との併用も可能

取組② プロモーションの強化

ふるさと納税ポータルサイトを通じた発信強化

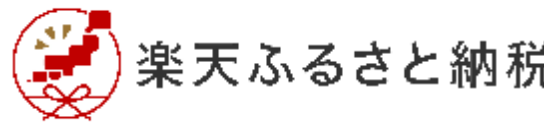
- より多くの方に京都市の取組を伝えるため、「ふるさとチョイス」、「ANAのふるさと納税」、「楽天ふるさと納税」、「ふるなび」に加え、「さとふる」、「G-Callふるさと納税」のサイトを新たに開設
→ 合計6つのサイトで寄付受付



【R元年8月13日受付スタート】



【R2年4月1日受付スタート】



【R2年6月15日受付スタート】



【R2年8月3日受付スタート】

寄付者傾向、
サイトの特徴、
システム連携等
を総合的に比較し
追加！



【R3年6月1日受付スタート】

テレビCMの効果もあって知名度が高く、利用者が多い



【R3年10月19日受付スタート】

サイトだけでなく、ダイナースクラブカード会員、アメリカン・エキスプレスカード会員にカタログ等から返礼品を案内している

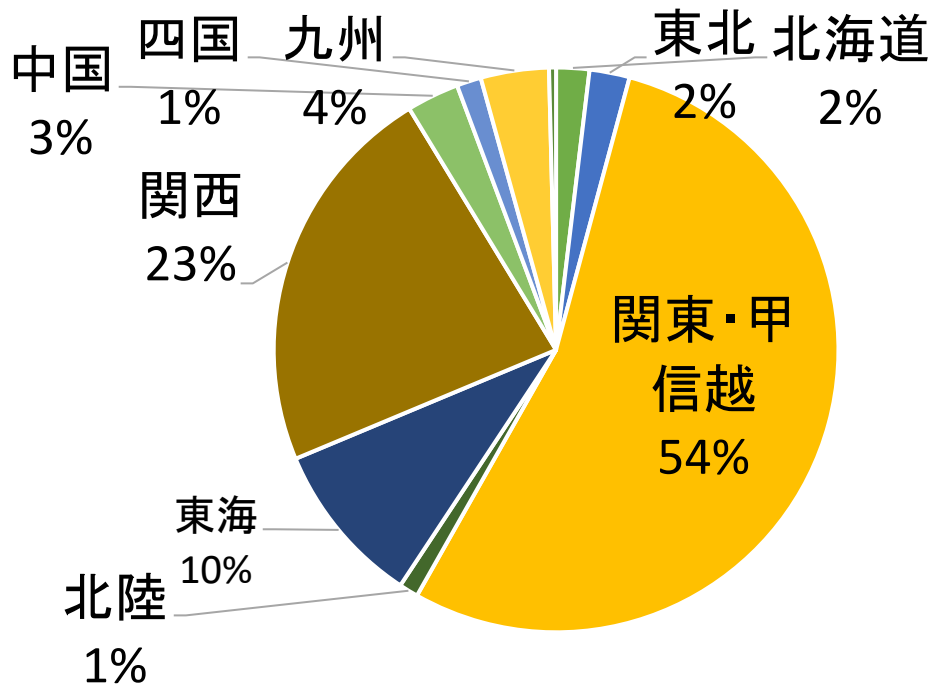
ポータルサイトの積極的な活用で寄付額増！

取組② プロモーションの強化

ターゲットを絞った戦略的なPR

- ・ 寄付額の半数以上を占める首都圏・阪神エリアからの寄付をさらに呼び込むため、東京・神奈川・大阪の映画館で返礼品のおせちをPRするCMを放映
- ・ 他都市と比べて寄付単価が高いことから、ふるさと納税限定の特別体験プランを企画し、その内容を紹介する動画を3本制作し、動画付リリースを首都圏メディアに向けて配信

■ R2年度の寄付者の地域別構成



京都のおせちをPRする動画を映画館でCM放映！



世界遺産“仁和寺”で過ごす、リラケーション体験プランのPR動画を配信！

返礼品をご紹介いただく機会が増

- 返礼品提供事業者のご協力の下、各種メディアでふるさと納税の紹介が実現

紹介事例

(首都圏)



■フジテレビ系列「ノンストップ」で、京都九条ねぎ「こと京都」様が紹介されました！

■TBS情報番組「ひるおび」で仁和寺様の体験型返礼品が紹介されました！

(関西圏)



■朝日放送テレビ「おはよう朝日です」内の『ふるさとOHATuber』（※現在は終了）で、京都市特集が生まれ、返礼品事業者の人柄に焦点を当てて紹介されました！

支援を呼び掛ける

- ・ ふるさと納税の活用事例を公式サイトにアップするとともに、メールマガジンを過去の寄付者に対して定期的に配信

寄付金の主な使い道

- ・ 寄付金は、「京都の未来を支える事業」への先行投資として様々な取組に活用

地域と文化を支える伝統産業や商業などの京都産業の振興	～京都議定書誕生の地から始める～環境と調和した持続可能な社会の実現
京野菜をはじめとする農林畜水産物の生産・販売を応援	地域で「気づき・つなぎ・支える」やさしさのあふれる共生社会の実現
まちの持続的な発展を支える観光・MICEの振興	人と動物とが共生できるうるおいのある豊かな社会の実現
京都らしい美しい景観の保全・継承	京都ならではの「はぐくみ文化」のもと、社会の宝である子ども・若者とその家庭等への支援
三条大橋の補修・修景	未来を担う子どもたちを応援！～教育環境充実に向けた取組～
東本願寺前における市民緑地整備をはじめとした魅力的で安心・安全なまちづくり	スポーツ振興の取組
西陣を中心とした地域の活性化	大谷大学と協働！「大学のまち京都・学生のまち京都」を応援
暮らしと心の豊かさにつなげる「文化首都・京都」の実現	京都女子大学と協働！「大学のまち京都・学生のまち京都」を応援
「文化芸術都市・京都」の新たなシンボルゾーンを創生！～京都市立芸術大学移転整備～	京都橘大学と協働！「大学のまち京都・学生のまち京都」を応援
京都学生祭典をはじめ京都を元気にする学生の挑戦を応援	新型コロナウイルス感染症対策支援
京都ならではの地域力を活かした協働型まちづくりの推進	京都市にお任せ
“SDGsで課題解決”～市民と行政のチャレンジを応援しませんか～	

R3年度に実施した主な「ふるさと納税型クラウドファンディング」

・ Arts Aid KYOTO ～京都の文化芸術を支える新たな基金～

コロナ禍で大きな影響を受けている京都の文化芸術関係者を応援する基金を創設。未来を担う芸術家の育成や子どもたちが文化芸術に触れる機会の創出などに活用

(期 間) R3年11月5日～12月10日

(寄付額) 3,745,000円 ※R3年12月末時点

【文化市民局】



©Gak Yamada

・「iPS細胞をはじめとした再生医療等の研究開発支援のためのふるさと納税型クラウドファンディング」

再生医療に重要な役割を果たすと期待されているiPS細胞。「誰もが受けられる医療」にすることを目指すiPS財団や、革新的医療技術の事業化支援に活用

(期 間) R3年10月1日～R3年12月31日

(寄付額) 23,720,245円 ※R3年12月末時点

【産業観光局】



©京都大学iPS細胞研究財団

厳しい財政状況にあるからこそ、京都を愛する多くの皆様のお力添えをいただき、その思いを実現するとともに、京都市の施策を推進できるよう、全庁一丸となって寄付獲得を進めていく。



(参考)京都市のふるさと納税寄付金について

京都市では、京都を愛する多くの皆様の御協力を頂戴することにより、京都の貴重な文化、美しい景観や自然、素晴らしい地球環境そして自分たちのまちやふるさとを大切にし、次の世代に引き継いでいくため、ふるさと納税寄付金を募集しています。

京都市出身の方、学生時代などを京都市で過ごしたことのある方、京都市民の方、全国で京都市を応援しようという思いをお持ちの方から多くの御支援をいただいております。

いただいた寄付金は、「京都の未来を支える事業」への先行投資として、様々な取組に活用させていただきます。寄付申込方法、使い道についての詳細は、下記サイトから御覧ください。

<https://www.city.kyoto.lg.jp/gyozai/page/0000186773.html>